

かけはし

YAME GENERAL HOSPITAL Public Relations Magazine

かけはし 2025年 夏号

- 新病院再整備について
- 思春期外来案内
- 地域医療懇談会開催のご案内
- 数字で見る公立八女総合病院
- 外来診療担当一覧

病院理念

心のかよった医療を提供し安心して暮らせる地域づくりに貢献します

基本理念

1. 患者さん中心の医療
2. 地域医療の充実
3. 人材の育成
4. 経営基盤の安定

「ヒメシャラ」

撮影：企業長 田中法瑞



交通アクセス



堀川バス 福島又は公立病院前下車
西鉄バス 西鉄福島下車



JR羽犬塚駅下車
堀川バス（25分）又はタクシー（15分）
新幹線筑後船小屋駅下車
タクシー（20分）



九州自動車道 八女IC
車10分（外来駐車場完備）



新病院再整備について



最近、NHK でも全国の「病院経営の危機」「医療撤退の時代」が繰り返して報道されています。民間病院の新病院建設はストップしています。赤字の公立病院が新病院再整備計画を行うことには相当の困難が予想されます。ただ、公立病院には総務省が建設費用の40%を補助するという企業債特別分の措置があります。



また、久留米大学病院は当院を教育関連病院の中でも最重要の病院と考えており、令和6年10月に教授会の承認を得て、学長、医学部長、病院長名で「公立八女総合病院への再整備計画に賛同し、医師派遣に全面的に協力する」という文書が発出されました。これは特別なことです。

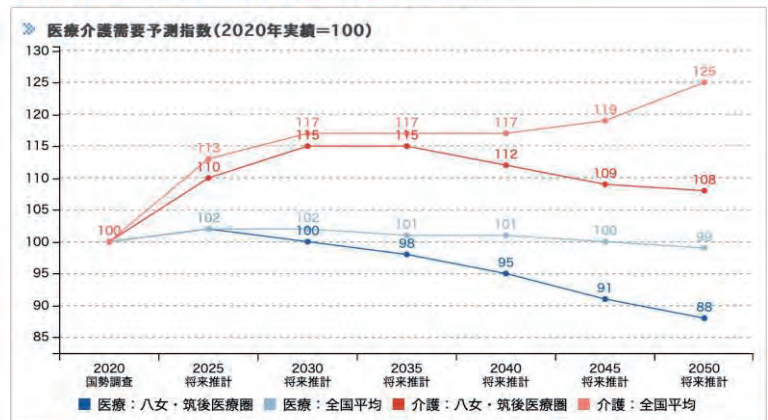
当院は脳卒中、心筋梗塞、感染症などの公的医療を提供できる地域で唯一の地域医療支援病院です。「救急車で久留米に行けばいい」という状況は残念ながら続きません。

将来にわたって、「住み慣れたこの地域で安心して子育てができ、歳を重ねる」持続的な医療提供体制を維持することは、地域において最重要の課題です。総務省、久留米大学の協力のあるこの時期にしか、「働きたい病院」「地域になくてはならない病院」を再整備するチャンスはありません。新病院再整備計画は、「公立病院の存続のため」ではなく、「住民のため」の計画です。

住民の皆さまのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

医療需要は2035年から低下するが、介護需要は増加する

八女筑後医療圏：医療と介護の需要予測指数



総務省 HP より

1. 医療圏外への流出状況の課題

住み慣れた地域で医療が完結することは、安心した暮らしの実現のため、また、早期診断・治療が求められる病気の救命率や、患者及び家族の利便性向上などの面において重要です。医療圏外への患者流出状況は、当院が主に担う下記の病床機能種別において23%が流出しており、流出先として主に久留米医療圏に依存しているという課題があります。

病床機能種別	福岡県			患者数計	自己完結率	圏外流出率
	久留米	八女・筑後	非公表値			
高度急性期	42.4 人/日	85.6 人/日	5.8 人/日	133.8 人/日	64.0%	36.0%
急性期	82.3 人/日	400.1 人/日	14.6 人/日	497.0 人/日	80.5%	19.5%
合計	124.7 人/日	485.7 人/日	20.4 人/日	630.8 人/日	77.0%	23.0%

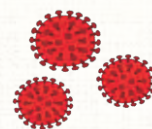
また、疾患分類別では、消化器系疾患（肝・胆・膵含む）の流出件数が多く、乳房・女性・産褥期・新生児・小児の疾患分類は流出率が高いことが課題です。

また、当院の救急車搬入件数はコロナ禍を除き、年間2,400件程度を受け入れていますが、八女消防本部管内の救急搬送件数は、コロナ禍以後、増加傾向にあり、久留米医療圏の高度急性期病院への搬送が増加傾向にあります。これらの課題は当院における消化器内科及び麻酔科の常勤医が不在であることが大きな要因であると考えています。



2. 新興感染症に対する課題

令和2年から日本で猛威を振るった新型コロナウイルスについて、当院は流行初期から入院患者の受け入れ、地域PCR検査センターの開設など、積極的な対応を行いました。診療に従事した職員は未知の感染症に対する恐怖を抱えながら、公立病院の職員としての使命感を持ち、対応にあたりました。しかし、現在の病棟の構造は多床室が多くを占め、感染症対策に必要な陰圧室が不足するなど、感染管理の難しさを抱えながら、非効率かつ過酷な状況で従事せざるを得ませんでした。今後の新興感染症の流行に対する施設面の課題は残されたままになっています。



3. 医療従事者確保の課題

主に急性期医療を担う当院は、多くの医療従事者の確保が必要であり、特に医師の確保は最重要課題です。急性期医療を指向する医師は、医療の高度・専門化に対応でき、かつ、高い研修能力が備わった病院に集まる傾向にあると言われています。これは、医師には高い専門知識や、絶えず新しい知識や技術を身につける必要があるからで、他の医療従事者も同様です。当院はこれまで、新たな医療機器の導入や度重なる施設改修などを行い、患者さんに良質な医療を提供するとともに、研修能力の向上にも努めてきました。しかし、当院の建物の一部は、建設からすでに50年が経過し、施設・設備の老朽化が進むとともに、改修のための院内スペースも十分には残されておらず、医療従事者のニーズに応えていくことが難しい状況です。



4. 再整備の必要性

以上のように、今後も一定の医療需要を見込むなか、中長期的な視点で、この地域に安定的な医療提供体制が確保されることは、住民の皆さまが安心した暮らしを実現するための基盤であり、そのためには現在抱えている課題解決を図るため、再整備を進めることが必要です。



5. 新病院の特徴

救急医療の充実	高度急性期病床（ハイケアユニット）12床の整備や救命救急分野における人材育成の推進等により救急診療体制を整え、八女・筑後医療圏内における救急応需力の強化を図ります。
診療機能の強化による地域完結型医療の提供	八女・筑後医療圏における地域完結率を高めることを目指し、循環器系（心臓・脳血管）疾患の機能強化、消化器系（胆・肝・膵含む）疾患の診療体制の確保を図ります。
新興感染症への対応強化と快適な療養環境の提供	原則全室個室とすることで、感染症の流行状況にあわせた徹底した感染対策を施し、新興感染症への対応力強化も図ります。また、プライバシーと快適さが確保された安心安全な療養環境を提供します。
小児・女性向け総合医療体制の確立	公立病院が担うべき役割として、小児医療の継続とともに、女性における医療ニーズに総合的に応えられる医療機能の整備を図ります。
災害医療への対応	災害拠点病院として、施設の耐震性能の強化や風水害に強い施設整備を行います。また、ヘリポート（屋上型）を整備し周辺地域の傷病者の受け入れ体制の整備を図ります。
医療を支える人材からも選ばれる病院	診療機能の強化を図るとともに教育研修機能を充実させ、医師を始めとした医療従事者にとっても魅力的で働きやすい病院を目指すことで安定的な医療提供体制を確保します。

6. 再整備計画

(1) 建築計画概要

新病院は当院と関連施設「みどりの杜病院」の再編統合を予定しています。免震構造の「本館棟」と耐震構造の「別館棟」及び「ホスピス棟」の3棟で構成し、敷地内に院内保育所を設置します。本館棟は7階建てを想定し、1階～3階に外来及び各部門（手術、検査等）、4階～7階に病棟配置を予定しています。

- ① 敷地面積 : 45,000 m²～50,000 m²
- ② 延床面積 : 本館棟及び別館棟（約 24,660 m²）、ホスピス棟（既設：約 2,400 m²）
- ③ 病床数 : 304 床（新設：274 床、既設：30 床）
- ④ 駐車場 : 約 850 台

(2) 再整備予定地（候補エリアの検討経緯）

- ・再整備用地の必要面積を想定される病院機能や病床規模から試算し、「工事中の安全」「病院運営への影響」「建築工期」「将来性」「災害対応」の観点から総合的に検討したところ、現地建替えは困難で、移転による再整備が必要と判断しました。
- ・移転候補エリアは、現病院を中心に約 3 km 以内の 5 地区を選定し、「必要面積の確保」「建築計画への影響」「アクセス・利便性」「安全性・インフラ」「地域連携」「事業実現性」の観点から評価を行い、2 地区を有力候補エリアとして絞込みました。
- ・みどりの杜病院（八女市立野地区）の現施設を新病院の「ホスピス棟」に転用する、現有施設の有効活用策が経営的な視点から最も合理的であることから、有力候補エリアとした 2 ヶ所のうち、「みどりの杜病院の隣接地」を再整備用地の最適な候補地として選定しています。

7. 再整備スケジュール

現在のところ、新病院は令和 12 年度中の開院を目指しています。

8. 今後について

- 計画内容（移転候補地含む）については、外部有識者を含めた検討委員会からの答申を受けて、企業団が今年 3 月に策定したものであり、今後開催予定の地域医療懇談会などにおけるご意見等をもとに調整を行い、具体的な事業化を図っていく予定です。
- この計画は八女・筑後保健医療圏における地域医療提供体制の将来像を示したものです。現在、企業団を組織する八女市・広川町、隣接自治体である筑後市、地域医療を支える医師会、医師派遣を担う久留米大学などの関係者と調整を進めています。



9. 病院機能再整備特設サイトの開設について

- ・住民の皆様に計画を広くお知らせするため、特設サイトを開設いたします。
- ・特設サイト内で皆様から広くご意見やご提言を募集いたします。
- ・ご意見等の概要については、特設サイト内にて公表いたしますが、個別の対応はいたしません。
- ・詳細については、QRコードよりご確認ください。
- ・皆様からのご意見をお待ちしております。



病院機能
再整備
特設サイト
QR コード

ご意見をお聞かせください



みよ子先生の

「思春期外来」 日程追加（土曜日）のご案内

当院の「思春期外来」について、月 1 回、土曜日の診療が追加になりました。
「月経に関する悩み」など、受診を迷っている方はお気軽にご相談ください。（対象：19 歳まで）

※ 原則「婦人科診療（内診）」は行いません。 ※ 予約なしでも受診できます。

診 察 日：7 月 5 日（土） 8 月 9 日（土） 9 月 13 日（土） 担当医師／宮川三代子医師

※ 今後も月に 1 回、土曜日の診療予定

お問合せ：産婦人科外来まで（平日 14：00～17：00）

思春期外来
ページは
こちら





地域医療懇談会の開催について

～地域医療の将来を考える～

今年1月に開催しました「地域医療懇談会」では、3会場で延べ300名以上の方にご参加いただき、主に本院が地域で担うべき役割、その存在意義、今後の地域医療のあり方等について、住民の皆さまへの情報発信と、意見交換を実施させていただきました。

本院にとって最も大切なことは住民の皆さまからの信頼です。地域において「なくてはならない病院」としての役割を果たすためには「公立病院はどうなっているのか、今後どうなろうとしているのか」ということを皆さまにお知らせすることが大切だと考えています。

このたび、下記のとおり「地域医療懇談会」を開催します。皆さまのご来場をお待ちしております。

開催会場

- | | | |
|--------|----------|----------------------------|
| ○ 星野会場 | 7月31日(木) | 星野支所 大集会室 |
| ○ 上陽会場 | 8月7日(木) | 農業活性化センター 大ホール |
| ○ 矢部会場 | 8月8日(金) | 矢部公民館ホール |
| ○ 立花会場 | 8月18日(月) | 立花公民館(市民センター) イベントホール |
| ○ 広川会場 | 8月19日(火) | 町民交流センター「いこっと」大研修室 |
| ○ 八女会場 | 8月20日(水) | おりなす八女 ハーモニーホール |
| ○ 黒木会場 | 8月25日(月) | 黒木支所 大会議室 <u>★ライブ中継予定★</u> |

アーカイブ
配信予定

(1部の日程について)

※開催時間：各会場 18時30分から(90分程度の予定)

内 容

現在の赤字が続く厳しい経営状況や、その課題に対する経営改善に向けた考え方や取り組み状況等、本院の現状について、企業長がご説明いたします。またその上で、八女・筑後医療圏における地域医療の将来像を示す、病院機能再整備計画についてご説明いたします。



企業長：田中 法瑞

※日程や内容等、変更する場合があります。

変更がある場合はホームページでお知らせしますのでご確認をお願いします。



地域医療懇談会のページ

詳細につきましては、随時ホームページにてお知らせします。
皆さまのご来場をお待ちしております。

(お問合せ)

公立八女総合病院 総務課 TEL：0943-23-4131 (代表)

数字で見る 公立八女総合病院

当院で行われている診療やさまざまな取り組みの結果、
見えてきた数字に注目してみました。

当院の特徴や現状を理解していただくことを目的に作成しました。



当院の主な指標（令和6年度）

手術件数



1,497

件／年

手術室で行った手技件数

救急車等搬入数



2,415

件／年

当院へ搬入された救急車の年間
台数（1日あたり平均約6.6台）

救急患者数



6,113

人／年

救急外来を受診した年間患者数

新入院数



4,473

人／年

1年間に入院された患者数

入院患者数



186

人／日

1日あたりの平均入院患者数

平均在院日数 ※1



14.2

日

1人の患者が平均して何日入院
していたかを示す指標

外来患者数



376

人／日

1日あたりの平均外来患者数

巡回診療回数



95

回／年

医療の確保が困難な無医地区に
おける巡回診療の実施回数

総紹介状件数 ※2



7,794

件／年

地域の医療機関などから紹介
された件数

※1 在院延べ患者数÷（（新入院患者数+退院患者数）÷2）

※2 当院は「地域医療支援病院」です。「地域医療支援病院」とは、地域の病院・診療所から、より詳しい検査や、専門的な医療が必要と紹介された患者さんに対して、適切な医療を提供することを目的として県知事の承認を受けた病院のことです

令和 6 年度公立八女総合病院の決算状況

日本病院会など6団体は、全国およそ1700病院の去年6月から11月の経営状況を調査し、医業利益が赤字の病院が69%という結果を公表しました。

また、不採算医療を担う公立病院が加盟する全国自治体病院協議会が、今年5月時点で把握している都道府県立病院の経営状況は多くの県で急激に悪化しています。

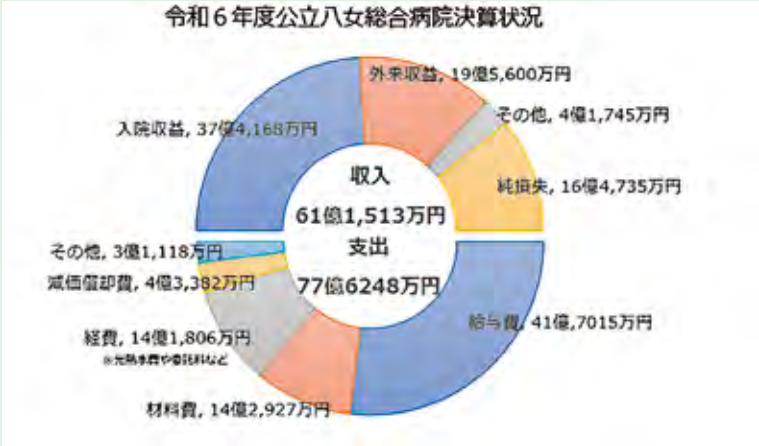
全国の主な都道府県立病院の経営状況（R6）							
○全国の主な都道府県立病院におけるR6決算状況は、前年▲80.1億円だけでなく、兵庫▲129億円、沖縄▲102億円をはじめ、多くの県で急激に経営状況が悪化している。 ○病院の規模や構成が異なり、単純な比較はできないものの、減益見込みを病院間で離れた単独平均では、1病院当たり約7～8億円の赤字を計上する見込みであり、全国の公立病院が危機的な経営状況に直面している。							
都道府県	病院数	差引損益	1病院平均	都道府県	病院数	差引損益	1病院平均
青森県	2	▲25.0	▲12.5	兵庫県	10	▲129.0	▲12.9
岩手県	20	▲80.1	▲4.0	鳥取県	2	▲12.2	▲6.1
山形県	4	▲11.9	▲3.0	島根県	2	▲16.2	▲8.1
新潟県	13	▲29.0	▲2.2	広島県	2	▲14.9	▲7.4
茨城県	2	▲10.4	▲5.2	徳島県	3	▲29.9	▲10.0
群馬県	4	▲29.9	▲7.5	香川県	3	▲34.9	▲11.6
富山県	1	▲14.7	▲14.7	高知県	3	▲21.9	▲7.3
石川県	2	▲18.6	▲9.3	鹿児島県	5	▲34.7	▲6.9
福井県	1	▲18.4	▲18.4	沖縄県	6	▲102.0	▲17.0
滋賀県	3	▲21.0	▲7.0			平均	▲7.4

※各都道府県の2月補正予算編成や補正予算を審議中で集計（10億円以上の赤字を見込んでいる都道府県）したものであり、今後、変更が見込まれること。（令和6年5月自治体病院協議会会議資料）

令和6年度の公立八女総合病院の経営状況を表す収益的収支は、収入 61 億 1,513 万円、支出 77 億 6,248 万円、純損失 16 億 4,735 万円の赤字決算となり、全国の他の公立病院同様、令和5年度に比べ、令和6年度の決算は悪化しました。

当院の赤字は、基本的には消化器内科、麻酔科などの常勤医の不在による収入不足が原因です。

加えて、令和5年10月まで新型コロナウイルス感染症への体制整備に係るコロナ補助金制度が廃止されたこと、令和6年6月に診療報酬改定が行われ、制度適合のため行った病棟再編により入院患者が減少したこと、また物価高騰、賃金の上昇等により経費が増加したものの、収入の柱である診療報酬は公定価格であり、病院が自由に価格転嫁できないことなどが影響しています。



令和 7 年度の取り組みについて

厳しい経営状況を踏まえ、現在、当院の特徴を活かした経営改善に向けた取り組みを進めています。

- ① 久留米大学医学部の重要な教育関連病院としての強固な連携と協力体制
- ② 総合病院ならではの多数の診療科と専門医の配置

* 世界最新鋭の血管撮影装置（バイプレーン DSA）の導入（※詳細は次号掲載予定）

この装置の導入により、これまで八女市、広川町ではできなかった脳外科領域における新たな治療（血栓回収術やコイル塞栓術など）が可能になり、地域医療格差の解消を図っていきます。

* 新たな紹介システムの運用構築（※今夏運用開始予定）

近隣の医療機関（かかりつけ医）から紹介しやすい病院になるため、新たな紹介システムを構築し、地域医療連携の強化を図っていきます。

これらの取り組みによる収入の増加を図り、病院の経営を安定化させるとともに、地域医療を守ることが当院の役割であると考えております。今後も持続可能な医療提供体制を維持するため、職員一丸となって経営改善に取り組めます。

毎週土曜日は休診です

※急患は対応します※

公立八女総合病院 外来診療 担当一覧

令和7年7月～

診療科	内 容	初診時 要予約	月	曜	火	曜	水	曜	木	曜	金	曜	備 考
消化器内科	※予約の方のみの診療（非常勤医師による診療体制のため） ※紹介の方の受付もできません												※肝炎ウイルス検診は火・木曜日（予約制）
健康診断		○					○				○		※受付時間：9：00～12：00
血液・腫瘍内科	午 前		○						○				紹介は月・木曜日午前のみ
神経内科	午前・午後				○						○		認知症の診療も行います。 紹介状をご持参ください。
膠原病内科	午 前 午 後	○					○				○		新患受付中止
内分泌代謝内科	午 前 午 後		○		○		○		○		○		★第2・4のみ（13：30～15：00）
心臓・血管内科	午 前 午 後		○		○		○		○		○		★ペースメーカー外来は月曜日14：00～（受付13：30～）
腎臓内科	午 前	○	○		○		○		○		○		※紹介初診 要予約 ※二次検診受付は10：30まで（要予約）
呼吸器内科	午 前		○		○★		○		○		○		★「禁煙外来」は火曜日午前（予約制） ※急患は午後も受けますので事前に連絡、紹介状を持参ください
外 科	午 前		○		○		○		○		○		※午前は再診・紹介状持参のみ（事前にお電話ください）
	血管(午前)								○				
	乳腺(午後)						○★				○		★水曜日は第1・3週のみ ★乳腺受付時間（14：00～15：00）
	その他の外科外来診療日詳細はHPおよびQRコードでご確認ください。												
脳神経外科	午 前 午 後		○		○		○				○		★午後は紹介状持参のみ（事前にお電話ください）
整形外科	午 前		○		○				○		○		
産婦人科	午 前		○		○★		○		○		○		★火曜日は、新患・急患のみ ※子宮がん検診（月・水・木・金曜日）
			※思春期外来 毎週月曜日（8：30～11：00） および月に1回土曜日（日程など詳細はお問い合わせください）										
皮 膚 科	午 前		○		○		○		○		○		月・金曜日は新患受付10:30まで
泌尿器科	午 前		○		○ (受付10:30まで)		○ (受付10:30まで)		○★		○ (受付10:30まで)		※紹介初診予約可 火・水・金曜日は新患受付10:30まで ★第4木曜日は休診
耳鼻咽喉科	午 前		○		○				○				※新患は紹介状持参のみの受付
眼 科	午 前		○ (受付10:00まで)		○ (受付10:00まで)		○★ (受付10:00まで)		○ (受付10:00まで)		○ (受付11:00まで)		※新患は紹介状持参のみの受付 ★黄斑外来は毎週水曜日のみ 紹介時は事前にご連絡ください（受付16:00まで）
小 児 科	午 前		○		○		○		○		○		※第2・4土曜日のみ診療（予約・紹介状持参患者のみ）
	心臓(午前)	○			○								※心臓・内分泌外来は予約制
	内分泌(午前)	○									○★		★第4金曜日は休診
	午 後		○		○		予防接種 (予約制)		○		○・一ヶ月健診		
精 神 科	午 前 午 後	○					○		○				※臨床心理士…月～金曜日 ※午後は入院患者診療のみ
放射線診断科	午 後	○	○		○		○		○		○		※木曜日午後は外来制限あり
企業長診察	午 前				○								診療時間：9：00～12：00
放射線治療科	午 前 午 後	○	○		○		○		○		○		
ハイパーサーミア	※事前にお問合せください												
緩和ケア科	午 前	○	○		○		○		○		○		午前診療時間：9：30～11：30
歯科口腔外科	午 前	○	○		○		○		○		○		※新患受付は10:00まで

外来診療
受付時間

初診

8:30～11:00

再診

8:00～11:00

TEL:0943-23-4131

FAX: (代表) 0943-22-3185

医療連携室:0943-22-6929

外来診療
担当一覧
QRコード